



あぐり 最前線

※防除薬剤のあとの数字は、安全使用基準で、**（収穫何日前まで使用可能か／通算使用可能回数）**を表しています。農薬は農業安全使用基準を守り、正しく適期に防除してください。

例）表記が（14日／2回）の場合：収穫14日前までに2回使用可能

水稲

●病害虫防除

◎いもち病

比較的低温で曇雨天が続く場合や、窒素過多で葉色が濃い場合に発生が多くなり、放置すると空気伝染で拡大し、株のずりこみ症状や穂もちが多発します。**進展してからの防除は困難なので、初期防除を徹底しましょう。**また、補植用置き苗が発生源の1つとなるので、必ず処分しましょう。



砂壤土の水田では注意が必要です。落水後、高温が続く田面が乾きすぎると、は、走り水を行い、根の老化を防ぎましょう。

収穫時期は、出穂後の平均気温積算値によりある程度予想することができま

【例】キヌヒカリ900〜1000℃

＊出穂後、平均気温が1℃高くなると収穫は1〜2日早まります。

【収穫の目安】

左記を参考に、生育状況を見ながら適期刈り取りを行ってください。

（6月5日田植えの場合）

- ※ハナエチゼン▽9月1日
- ※イクヒカリ▽9月5日〜10日
- ※キヌヒカリ▽9月7日〜13日
- ※きぬむすめ▽9月20日〜30日
- ※ヒノヒカリ▽9月25日〜10月5日
- ※にこまる▽9月28日〜10月8日

◎適期に刈り取り

全株の稔実率が85%程度黄化した時が、刈り取りのポイント。適期より早刈りすると青米が増加し未熟粒が多くなり、刈り遅れると透明度が低下し茶米や胴割れ米が発生しやすくなります。刈り遅れによる品質低下が多いので注意しましょう。

④玄米水分は14・5%

収穫後、できるだけ早く（4時間以内）通風してください。また、急激な乾燥は避けてください。

＊高温、急激な乾燥は胴割れ米の原因となります。

⑤よい調整で良質米に仕上げる

◎紋枯病

梅雨以降高温が続くと発生します。窒素過多や密植は発病を助長するので注意しましょう。病斑は水際付近の茎から上に向かって拡大するので、**株元まで薬剤がかかるように散布することが重要です。**



◎基幹防除

- ▽8月上・中旬(早生)
- ・MR、ジョーカIEW 200倍（14日／2回）
- ＊紋枯病・いもち病発生のおそれや、登熟期・成熟期以降にカメムシ類の発生のおそれがある場合は、「水稲栽培」よみへの防除例を参考にしてください。
- ▽8月上・中旬(中晩生)
- ・MR、ジョーカIEW 200倍（14日／2回）

乾燥直後の籾すりは肌ずれ米や胴割れ米になりやすいので、温度が下がってから始めましょう。肌ずれ米は、保管期間が長くなればカビなどの発生につながります。

⑥籾・異物などの混入に注意

⑦量目適正(30・5kg)確保

決まった量目を必ず入れましょう。



今月は高温・乾燥対策が必要です。高温・乾燥は、カルシウム欠乏による尻腐れ果の発生を助長するので、Ca液肥500倍を生育に応じて施用しましょう。また、シシトウで発生する辛味果は乾燥や草勢低下で起こります。灌水・追肥・不良果の摘果などで草勢の維持、回復を図りましょう。

●追肥

・マンスリー2号(液肥) 1000倍

●圃場準備

病原細菌は、被害残さとともに土壌中に1年以上生存するため、土壌消毒を徹底する必要があります。連作障害の回避や土壌病害、センチュウ被害の軽減や雑草抑制にもなるため、土壌消毒剤を適切に使用し防除してください。なお、土壌消毒剤にはそれぞれ特徴があるため、目的に応じて使用しましょう。

病害が問題となっている圃場は、クロ



ダイコン

●圃場準備

病原細菌は、被害残さとともに土壌中に1年以上生存するため、土壌消毒を徹底する必要があります。連作障害の回避や土壌病害、センチュウ被害の軽減や雑草抑制にもなるため、土壌消毒剤を適切に使用し防除してください。なお、土壌消毒剤にはそれぞれ特徴があるため、目的に応じて使用しましょう。

病害が問題となっている圃場は、クロ

土壌分析をしましょう！

—コスト低減に向けて—

JAでは、肥料の過剰施肥による無駄をなくしコスト低減に繋げるため、土壌分析を毎月実施しています。分析を希望される方は、約1合程度(20g)を採り、必ず土壌を乾燥させてから袋に入れ住所・氏名・Eメールと、水稲野菜(キャベツ、ハクサイ、等)・果樹(ミカン、カキ、等)など品目名を記入して、8月16日(金)までに各支店へご持参ください。分析結果は9月中旬頃にご連絡致します。

市場出荷休日カレンダー (野菜・果樹)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

×は出荷できない日 □は日曜・祝日等

- ・アミスターエイト 1000倍（14日／3回）
- ▽8月下旬(中生) ・9月上旬(晩生)
- ・スタークル(顆) 200倍（7日／3回）

◎粒剤防除

- ▽8月上旬(中晩生)
- ・イモチエースクラブ(粒) 3kg／10a（35日／1回）
- ▽8月上旬(早生) ・8月中旬(中生) ・8月下旬(晩生)
- ・スタークル(粒) 3kg／10a（7日／3回）

◎豆つぶ剤防除

- ▽8月上旬(中晩生)
- ・ワイドパンチ豆つぶ 250g／10a（35日／1回）
- ▽8月上旬(早生) ・8月中旬(中生) ・8月下旬(晩生)
- ・スタークル豆つぶ 250g／10a（7日／3回）

①出穂2週間前までに草刈り作業

畦畔のイネ科雑草、水田周辺雑草地は斑点米カメムシ類の発生源になります。出穂2週間前までに草刈りしましょう。

ルピクリン含有量の多い資材を選択し、虫害が問題となっている圃場では、DID含有量の多い資材を処理しましょう。DIDは、クロルピクリンに比べガス抜けが悪いので、より丁寧な耕起が必要です。

青ネギ

秋まき栽培が始まります。青ネギは根が浅いことから有機質に富み、通気性・排水性・保水性に優れた土壌が適しています。

●堆肥を投入し、土づくりしましょう。

◎播種

10aあたり1.5〜2ℓを用意し、128穴プラグトレイに1穴あたり10粒程度播種します。播種後、パーミキュライトなどで薄く覆土し、灌水します。病害防止のため、トレイは直接土の上に並べないようにしましょう。

●定植

株間15〜20cm、畝幅120〜130cmの4条植えとします。浅植えをし、定植後は十分灌水し活着を促しましょう。

●病害虫防除

- ◎スリップス・ネギハモグリバエ
- ・スタークル(顆) 50倍（0.5ℓ灌水／トレイ）（定植前日〜定植時／1回）

水田裏作野菜全般

8月播き品種は高温期の育苗のため、苗づくりが重要なポイントです。高温対策として涼しい場所を選び、寒冷紗などで高温障害を防いでください。また、こまめに灌水をしていきますが、多すぎると立枯病が

発生しやすくなるので注意しましょう。

キャベツ

●播種

※星岬▽8月5日〜15日

※恋岬SP▽8月15日〜31日

●病害虫防除

- ▽播種時
- ◎ハイマダラノメイガ
- ・プリンス(粒) 20〜30g／トレイ(播種時1回)
- ◎育苗トレイ処理剤
- ▽育苗期後半〜定植当日
- ・ベリマークSC 400倍（0.5ℓ灌水／トレイ）（1回）
- ▽定植前日〜当日(根こぶ病対策)
- ・ランマン(フ) 500倍（2ℓ灌水／トレイ）（1回）

ハクサイ

●播種

※CR0501、秋の祭典▽8月25日〜30日

●病害虫防除

- ◎育苗トレイ処理剤
- ▽育苗期後半〜定植当日
- ・ベリマークSC 400倍（0.5ℓ灌水／トレイ）（1回）
- ▽定植前日〜当日(根こぶ病対策)
- ・ランマン(フ) 500倍（2ℓ灌水／トレイ）（1回）

ブロッコリー



- 播種
 - ※スピードドーム▽8月10日～15日
 - ※ピクセル▽8月15日～20日
 - ※アーサー▽8月15日～30日
 - ※クリア▽8月20日～9月15日
- 病害虫防除
 - ▽播種時
 - ◎ハイマダラノメイガ
 - ・プリンス（粒） 20～30g/トレイ（1回）
 - ◎育苗トレイ処理剤
 - ▽育苗後半～定植当日
 - ・ペリマークSC 400倍（0.5ℓ 灌注/トレイ）（1回）
 - ▽定植前日～当日（根こぶ病対策）
 - ・ランマン（フ） 500倍（2ℓ 灌注/トレイ）（1回）

果樹全般

カメムシが園地に飛来してくる時期です。これから収穫が始まる品目を栽培されている方は、園内を注意して見回りましょう。カメムシ発生が認められた場合は速やかに薬剤散布してください。台風対策として支柱・枝吊りを行い、風による枝折れ・傷果を防ぎましょう。

ウメ



今月の作業は、夏期剪定です。

- 4回
 - ◎ミカンサビダニ・アザミウマ類（ネギアザミウマを除く）
 - ・コテツ（フ） 400倍（前日/2回）
 - ▽8月下旬～9月中旬
 - ◎ミカンハダニ・ミカンサビダニ・チャノホコリダニ
 - ・ダニゲッター（フ） 200倍（前日/1回）
 - 浮皮・果皮障害対策
 - ・バイカルティ 1000倍加用（防除毎）

農地中間管理事業による農地の貸借・借受希望者募集中

この事業は、（公財）和歌山県農業公社（農地中間管理機構）が、規模縮小や後継者がなく離農しようとする農家の農地を借り受け、規模拡大したい農家や新規就農者等に貸し付けるものです。

農地中間管理事業のメリット

- 1 公的機関の機構との契約なので安心!!
出し手農家：農地は契約期間が終われば確実に返還されます。賃料は公社が回収するので手間がかかりません。
受け手農家：農地の所有者が複数の場合でも契約は公社とだけで済むので、借入期間中は安心して耕作可能。
2 一定の要件を満たせば支援が受けられます。

詳細は、**営農生活部 (0473-94402)** までお問い合わせください。

プラグ苗大口購入奨励措置のお知らせ

農家の生産コスト低減を図るため、今年度も引き続き以下の奨励措置を実施します。

対象品目	野菜プラグ苗 ※キャベツ・ハクサイ・ブロッコリー・レタス・サニーレタス・ロメインレタス
対象者	共販部会員
対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
奨励金	(1) 500トレー以上購入…購入金額の5% (2) 300トレー以上購入…購入金額の4% (3) 150トレー以上購入…購入金額の3%

奨励金のお支払いは来年5月に予定しています。

イチジク



樹冠内部の日当たりを良くし、着色・品質向上を図りましょう。
イチジクの葉は果樹の中でも大きいため、結果枝下部の果実や樹冠内部が過繁茂の場合、日照不足による着色不良果となります。結果枝の上部を絞りこみ、葉を巻きこむことで日当たりを良くしましょう。

カキ



8月は、最終的な着果量を決定する仕上げ摘果の時期です。もう一度園内を見回り、着果過多の部分や樹冠ふところの小玉果、または病害虫被害果、傷果などを摘果しましょう。

- 礼肥
 - ▽8月下旬 *収穫後
 - ・ニューわかやま味一ブリケット（80kg/10a）
 - または
 - ・わかやま配合（80kg/10a）
 - *樹勢が強い場合は施用量を控えましょう。
 - 病害虫防除
 - ▽収穫後
 - ◎クワシロカイガラムシ
 - ・スプラサイド（水） 1500倍（21日/2回）

- 摘果
 - 9月初旬の果実の果頂部より緑色が抜け始めた頃、果実周辺の葉を3～5枚除去すると、ヘタ部の着色促進に効果があります。
 - 病害虫防除
 - ▽8月上旬 ※刀根早生・富有
 - ◎落葉病・炭そ病・うどんこ病
 - ・スコア（顆） 300倍（前日/3回）
 - ◎イラガ類・カキノヘタムシガ
 - ・フェニックス（顆） 400倍（7日/2回）
 - ▽8月中旬・下旬 ※刀根早生

みかん



今月は摘果作業が中心となります。

- 摘果
 - 極早生品種は、8月中旬から仕上げ摘果を行い、上向き果実や日焼け果を除去しましょう。早生・普通温州は、8月中に小玉果や傷果を間引きします。ただし、着果量の少ない樹は、9月の仕上げ摘果で落としてください。
 - 灌水
 - 果実肥大と樹勢維持のため、適切に灌水しましょう。灌水の目安は、果実が日中柔らかく朝になると硬くなっている場合は、数日後に灌水が必要で、朝になっても柔らかい場合は、早急に灌水してください。
 - 病害虫防除
 - ▽8月中旬
 - ◎黒点病
 - ・ジマンダイセン（水） 600倍（30日/2回）

令和元年度 共販部会 肥料・農薬引取日程のお知らせ

北ブロック	日時	8月19日（月）・20日（火） 8:30～17:00
	場所	北部営農センター集荷場（旧西田井集荷場）
中央ブロック	日時	高積支店管内 8月15日（木）・16日（金） 8:30～17:00 ひがし・四ヶ郷中之島支店管内 8月19日（月）・20日（火） 8:30～17:00
	場所	中央営農センター
南ブロック	日時	8月16日（金） 8:30～17:00
	場所	南部営農センター
東ブロック	肥料	日時 8月22日（木） 8:30～17:00 場所 広見橋集荷場
	農薬	日時 8月22日（木） 8:30～17:00 場所 岡崎・西山東・東山東・安原支店 8:30～17:00

我々にお任せください！営農指導員

農業に関する皆さまの疑問・お悩みは我々が解決します！



各種試験研究に取り組み、管内の農家所得増大のために役立てていきます。

富上 大介
西部営農センター
080-9599-7458



JAわかやまブランドを皆さまと一緒に作り上げるため、誠心誠意サポートさせていただきます。

児玉 常義
北部営農センター
080-9599-7460



一層、生産者の皆さまの立場になってよりわかりやすい営農指導に努めていきます。

上野山 恭介
中央営農センター
080-9599-7462



生産者の皆さまと共に歩む営農指導員として邁進していきます。

角田 拓摩
中央営農センター
080-9599-7463



生産者の知恵袋となって課題を解決し、地域農業のさらなる発展に努めます。

楳本 智司
南部営農センター
080-9599-7454



農家所得向上のために最善の栽培技術や知識を提供してまいります。

手平 康介
南部営農センター
080-9599-7455



野菜・果樹・水稲の栽培技術と経営の向上に向け、邁進していきます。

田中 敦幸
営農生活部
080-9599-7453



農業支援事業関係を担当しています。皆さまのお役に立てるよう頑張ります。

大西 和宏
営農生活部
473-9402
(営農生活部)



高品質な苗を育苗し、農家所得の向上につなげられるよう頑張ります。

中里 成吾
営農生活部
465-4100
(グリーンセンター)



地区巡回を通じて組合員との交流を深め、皆さまに頼られる指導員になります。

岩橋 直路
営農生活部
080-9599-7464



皆さまに満足していただける苗を供給するため、日々勉強に励んでいます。

中井 翔大
営農生活部
080-9599-7456

令和
2年度

次世代野菜花き産地パワーアップ

要望とりまとめについて

高い生産性が特徴のオランダ農業をモデルとした新技術の導入や災害に強い施設園芸ハウスの整備等、生産から流通、販売までの取り組みを総合的に支援します。

JAが策定する産地構造計画に基づき、ハード・ソフト事業を総合的に支援します。

事業主体 JA、出荷団体、協議会、農業者 等
補助率 下記補助対象の1/3以内
補助限度額 10,000千円/1団体
(ICT等の新技術を使用した機械設備又はハウスの高度化を含む場合25,000千円)

対策	補助対象となる機械・資材
生産性の向上	(1) ICT等の新技術を使用した機械設備の導入 ①炭酸ガス発生装置…フルタ光合成促進機 (2) 省力化機械の導入 ①野菜移植機 ②野菜収穫機 ③農業用ドローン (3) 高品質化につながる機械設備の導入 ①高設栽培・養液栽培装置 ②自動換気装置 ③遮熱ネット(遮光ネットは対象外) (4) 集出荷貯蔵施設の導入 ①野菜選別機 ②野菜袋詰機
施設園芸の拡大	(1) ハウスの高度化 ①耐風性ハウス ②耐暑性ハウス ③ダブルアーチハウス (2) 省エネ機器の導入 ①循環送風機…フルタエアビーム [AB361NA (100V)、AB363NA (200V)] ②多重カーテン

※要望が多い場合、補助率が下がることや、ハウスの高度化には種類により上限額(1a当たり)が設定されています。

申込締切日 令和元年8月30日(金)

果樹経営支援対策事業を活用しましょう！

優良品目、品種への転換 (2a以上)

果樹類の優良品目、品種など産地振興品目、品種への転換に対する助成です。

- ① 転換元がかんきつ類: **23万円/10a** ② 転換元が落葉果樹: **17万円/10a**
 - ③ 転換先が指定落葉果樹以外: **税抜き事業費の1/2以内** (3社見積もりが必要です。)
- ※指定落葉果樹とは…桃、柿、梅、イチジク、ブドウ、栗を指します。

小規模基盤整備 (10a以上)

園内道などの整備に対する助成です。

- 補助率: **税抜き事業費の1/2以内** (3社見積もりが必要です。)

品質向上施設の設置 (10a以上)

多目的スプリンクラーやマルチドリップなどの設置に対する助成です。

- 補助率: **税抜き事業費の1/2以内** (3社見積もりが必要です。)

特認事業 (10a以上)

代替軌道施設、防霜・防風施設(受電設備は含まない)の設置に対する助成です。

- 補助率: **税抜き事業費の1/2以内** (3社見積もりが必要です。)
- ※モノラック(本機と荷台のセット)の更新(安全鑑定取得機種で既存設備より牽引能力、積載能力の向上が条件)とそれに伴うレールの延長、支線の整備、レールの更新ができます。

果樹未収益期間支援事業 (5a以上)

優良品目、品種へ転換した担い手に対して未収益期間(5年間)のうち、改植初年度を除いた4年間の果樹の育成経費の一部を定額で支援するものです。

- 補助単価: **22万円/10a** (5.5万円×4年)
- ※事業終了後、果樹経営支援対策事業の補助金と一括で支払われます。

事業対象者

以下のすべての条件を満たす必要があります。

- 以下のいずれかに該当すること。
①認定農業者 ②農業所得が主で60歳までの者がいる農家 ③農業所得が主で後継者が確実にいる農家 ④農業生産法人 ⑤新規参入者
- 温州みかんに関する事業を実施する場合は、温州みかん需給調整対策事業に参加していること。
- 防霜、防風施設を希望される場合は以下の条件をすべて満たすこと。
①果樹共済に加入していること ②受益面積は10a以上5ha未満であること ③国の補助事業による整備が困難であること

事業の申込締切日: 令和元年8月14日(水)

それぞれの詳細は、営農生活部 ☎473-9402 または最寄りの営農センターまでお問い合わせください。